

## 「寺西信一氏」がエリザベス女王工学賞 (Queen Elizabeth Prize for Engineering) を日本人で初の受賞

兵庫県立大学高度産業科学技術研究所 特任教授 寺西信一氏に、英国が設立した工学分野での大きな業績を顕彰する国際的な賞である「クイーンエリザベス工学賞 (Queen Elizabeth Prize for Engineering)」の受賞決定の発表がありました。

Eric Fossum(米国ダートマス大学)、George Smith(元米国ベル研究所)、Michael Tompsett(元米国ベル研究所)との共同受賞です。

受賞理由は、「固体撮像素子 (CCD イメージセンサおよび CMOS イメージセンサ) の研究開発、特に埋込フォトダイオード (Pinned Photodiode) の発明」です。

本賞は、2013 年より隔年で授与され、工学分野の画期的なイノベーションにより人類に顕著な恩恵をもたらした個人またはグループに与えられます。

第 1 回受賞者は、ワールド・ワイド・ウェブ (www) を開発した英国の Sir Tim Berners Lee らインターネットの開発・普及に貢献した研究者 5 名、第 2 回は米国の生体工学分野の権威 Dr Robert Langer でした。受賞者は、様々な国・工学分野の専門家からなる審査委員会により選ばれ、今回 (第 3 回) は、2017 年 2 月 1 日に発表されました。

授賞式は、英国バッキンガム宮殿でエリザベス女王から、賞金 100 万ポンド (約 1 億 4000 万円) が親授されます。